

New Tokyo Circuit 2018

SUPER GT-K

Super Gran Turismo Karting



●SUPER GT-K 2018 開催概要●

本大会は参加者が安全に楽しくモータースポーツを行うことを趣旨とし、国内競技規則及び国内カート競技規則とその付則ならびに、この開催概要を基に従って開催される。本大会は参加者が協力し合い、上級者の方は初心者の方などに対する配慮等出来るようにし“ルールとマナー”を尊重しながらモータースポーツを楽しむことを目的とする。本シリーズの規則内容が、K-TAI 規則との内容が一致しない場合は、本開催概要が優先される。ただし、この開催概要に定める項目は安全や公平性及び“モータースポーツを楽しむ”という目的と合致する場合、変更する場合がある。その場合は、ホームページなどで事前に発表するが、イベント当日で告知する事もある

Ver.1 2018/2/12 up 昨年からの変更店については赤文字・下線で記す。

Ver.2 2018/2/25 up 赤文字・波線で記す (16、20、32)。

第1章 大会開催に関する事項

- 1、 **イベント名称**：NTC SUPER GT-K 2018 (エヌティシー・スーパー・ジーティーケー)
- 2、 **主催**：株式会社 新東京サーキット (<http://www.n-tokyo.co.jp/>)
- 3、 **開催日程**：
 - 第1戦：3月10日(土) 現在のコースレイアウト
 - 第2戦：5月26日(土) 新規レイアウト
 - 第3戦：7月28日(土) スタート&予選 TT：ヘヴィードライバー
 - 第4戦：9月29日(土)
 - 第5戦：11月17日(土)
- 4、 **レース方法**：汎用4ストロークエンジンを使用した4時間(240分)耐久レース。スケジュールの進行状況および諸事情によりレース時間が縮小される場合がある
- 5、 **開催区分**：応募の数によって定員数をコントロール(振り分け)する場合がある。
 - 【GT-1】(定員 30 チーム) …もてぎカート耐久フェスティバル K-TAI 特別規則書“エンジョイクラス”に準拠した参加者持ち込みのマシン、もしくはそれに準じたカートショップやチームが所有しているレンタルカート。
 - 【GT-2】(定員 15 チーム) …r-kart 合同会社 ESK シリーズ『エンジョイ A クラス』のエンジン規定に準ずる。もしくはそれに準じたカートショップやチームが所有しているレンタルカート。
- 6、 **公式通知に関する規定**：本規則に記載されていない競技規則に関する実施の細目及び、ドライバーに対する指示細目は、本規則書付則及び公式通知によって公示される。公示の方法は主催ホームページ上、もしくはイベント開催当日に配布される。

第2章 参加に関する事項

- 7、**延期、中止または取り止め及び変更に関する事項**：オーガナイザーは、大会の一部あるいは全部を延期、中止、または取り止めることができる。原則として延期され、イベントの全てが取り止めになった場合エントリーフィーは全額返還される。また、エントラント及びドライバーはこれによって生じる損失についてオーガナイザーに抗議する権利を保有しない。なお、オーガナイザーはイベントの内容を変更する権限を保有する。これに対する抗議は認められない。
- 8、**開催の有無およびキャンセル(イベント当日について)**：雨天決行とする。但し、安全に運営できないと判断された場合は、レース時間の短縮や順延・中止する場合がある。走行が一回も行われずに中止が決定した場合、手数料(¥1000-)を除き参加費は返却される走行開始後(公式練習含む)は返金されない。
- 9、**参加資格**
- ・ 満18歳以上とする。
 - ・ 参加ドライバーはJAF/SLいずれかのカートライセンスを所有していること。
 - ・ 過去5年間、全日本カート選手権およびフォーミュラー、またはそれらと同一規模の大会やカテゴリーに出場経験があると、主催者より判断された者を、助っ人と認定する場合がある。そして1チームに対して1名まで認める。
 - ・ 本大会は「安全に楽しむ」ことを目的に開催される。勝負にこだわる・マナーが悪いなど、イベント主旨を理解できない者の参加は認められない。
- 10、**チーム編成**：1チーム 2名~8名まで (ただし2名の場合は1名以上のクルーを付けること)
- 11、**チームの認定**：各戦1名が次戦に継続エントリーしていれば同一チームとしてみなされる。
(例) 第1戦 **A** B C D→第2戦 **A** **E** F G→第3戦 **E** H I J
原則としてチーム名の途中変更は認めない。
- 12、**受付方法**：エントリー用紙を記入の上、FAXで申込を行う。その時点で仮決定となる。FAX送信後、7日以内に指定の口座(下記参照)へ振り込むこと。期日を過ぎても振込を確認できなかった場合は、連絡や告知なしにエントリーがキャンセルされる場合がある。振込が確認できた時点でエントリー完了となる。新東京サーキット事務所の窓口にて、直接申込も可能(現金書留も可能)。
- 京葉銀行うすい支店 普通口座 4823811 株式会社新東京サーキット
- (例) トウキョウ シンタロウ(←振り込み名は代表者名)
- 13、**エントリーの受付**：レース開催日より1ヶ月前から。
- 14、**エントリーフィー**：イベント当日の練習走行も含む。GT-1(¥32000-)、GT-2(¥28000-)

15、 エントリーの受理と拒否

- ・ オーガナイザーは理由を示すことなくエントリーを拒否することができ、かつその行為をもって最終決定とする。この場合、エントリーフィーは全額返還される。
- ・ エントリーの受理は、必要事項のすべてが明記された参加申込書兼およびエントリーフィーが受付場所で受理された時点でオーガナイザーの参加承認が成立しますが、拒否の通知は開催日までに通知される。
- ・ 一旦受理されたエントリーフィーはいかなる理由があっても返還されない。

第3章 車両に関する事項(GT-1、GT-2)

16、 シャシー 2018/2/25 削除、追加

- ・ 公認実績のあるカート用シャシーのみ使用可能。フルカウル禁止。
- ・ 前後左右にはバンパーを必備とし、大型リアバンパー、もしくはリアプロテクション必備。
- ・ ウイングや空力向上のためと思われるスポイラー類は禁止(メーカー標準装備品は除く)。
- ・ バックミラーの取付けは自由。走行中に緩んでいると判断された場合、ピットに呼び戻される。
- ・ その他、K-TAI 規則に基づくが、主催者側が安全基準を満たしていないと判断された車両については走行を認めない場合がある。
- ・ フロントブレーキ使用は認められないすでに付いている場合は作動しなければ許可する(削除)
- ・ フロントブレーキ使用は主催の判断とする(事前申告お願いします)。
- ・ 『JAF 国内カート競技車両規則』記載の、ブレーキを手動で操作する車両、およびアクセルレターを手動で操作する車両の使用を認める(事前申告お願いします)。

17、 **タイヤ**：下記指定タイヤ1セットの使用を認める。但し、走行に支障をきたすトラブルの場合は競技長の判断により変更は可能。グルーピングやトリートメントなど一切禁止とする。

【ドライ】 ADVAN ED 【ウェット】 ADVAN SL タイヤ

18、 エンジン

<共通規則>

基本エンジンは登録された国内メーカー汎用4ストロークエンジンに限る。エンジン本体の定義は、マフラー、キャブ、燃料タンク、クラッチ・エアクリナー以外のエンジン本体とする。

- 1) エンジン本体は市販状態から変更・改造不可 **※禁止事項※**
- 2) 点火装置・点火時期を変更してはいけない **※禁止事項※**
- 3) ファン・フライホイール・サイドエンジンカバーの変更を認めない **※禁止事項※**
- 4) 使用しているエンジン形式内での純正パーツの交換を認める。
- 5) ガバナー装置の取り外し、回転リミッターの取り外しは可能。
- 6) 製造者が申請し大会事務局が公認した物の使用を認める。ただし性能変化が無くエンジンを保護する目的で一般販売されている物に限る。
- 7) マフラー音量については厳しくチェックし、主催者の判断で使用不可にする場合がある。
- 8) リコイルスターター(手動)での参加を認める
- 9) エンジンのオイルドレンボルト(前後2箇所)へのワイヤーロックを義務付ける。
- 10) その他性能に変化を与える部品。

【GT-1 エンジン規定】

HONDA…GX-200SP

SUBARU…EX-21、EX-27、KX-21

YAMAHA…MZ-200

※ キャブレターの変更は自由とするが、チョークボア側の最大直径は 30mm 以下とすること。
又エアークリーナーなど、必ず取り付ける事。燃料ポンプ負圧穴の加工は許可する。

<変更可能なパーツ>

- ・エンジン本体以外のキャブレター、マフラー、クラッチ
- ・エキゾーストマニホールド/マフラー
- ・インテークマニホールド/キャブレター(最大直径30φ以内)
- ・エアークリーナー・クラッチ

【GT-2 エンジン規定】

HONDA…GX-200SP

SUBARU…EX-21、EX-27、KX-21

YAMAHA…MZ-200

r-kart 合同会社 ESK シリーズ『エンジョイ A クラス』のエンジン規定に準ずる。

19、燃料：ガソリンスタンドで購入できる一般市販の燃料に限る。エンジンオイルは通常市販されているもののみとし、それ以外の添加物の使用は認めない。レース終了後、検査の為に余分に残しておくこと。

20、ゼッケン：2018/2/25 変更(急な変更となるので、必要なチームのみ配布します)開幕戦限定

	GT-1	GT-2
文字色	黒 black	黒 black
背景色	黄色 yellow	白 white

- ・年間を通して共通のゼッケンとする。特に指定がない場合は主催者により決定される。ゼッケンが用意できない場合は、主催者より配布される(4ヶ所分、初戦のみ)。
- ・車両の前後に 200mm×200mm 角以上のゼッケンスペースを設けること(スペースが確保できない場合はナンバープレートを装着すること)。ゼッケンの文字・色についてはコントロールタワーおよび各ポストにてオフィシャルより確実に識別できるものを使用すること。不明瞭と判断された場合は、速やかに修正すること

21、最低重量：■GT-1…150kg 以上 ■GT-2…155kg 以上

最低重量はチーム登録ドライバーの平均体重(ドライビング装着用時)に、車両重量を加えたものとする。マシンにオモリを装着する場合、ネジは2点止めでしっかりと固定すること。重量を合わせる為にドライバーがオモリと思われる物を着用して走行することを認めない。

- ・女性ドライバーの重量測定は任意とする。拒否の場合は一律 60kg とする。
- ・平均年齢が 50 歳以上を超えるチームは、最低重量から 5kg 軽くすることができる。ただし、チーム内に 40 歳以下のドライバーがいた場合は適用外とする。

22、重量測定：

<ブリーフィング前(朝)>

GT-1、GT-2 は簡易車検、およびドライバーの重量測定を行う。

<レース終了後>

GT-1、GT-2 はレース終了後、車検場でマシンの重量を計測する。朝のドライバー平均体重とマシン重量の合計が規定よりも下回った場合は、失格とする。

23、ドライバーの装備：

- ・ヘルメットはフルフェイスを着用(バイザー必備、ティアオフシールドも使用可)
- ・服装はレーシングカート用スーツもしくは4輪レース用レーシングスーツもしくはメカニックスーツ(厚手の布つなぎ)、くるぶしまで覆う靴、滑り止めの着いた手袋。(注)スーツの一部が破けていたりすり切れそうだったり、油がしみこんで汚れていたりした場合は不可とする。
- ・リブプロテクター、ネックガードの使用について強く推奨する。
- ・レインコート装着の場合、レーシングスーツの上から着用する事。

24、車載カメラ：取り付け箇所としては、マシンフロントカウルの計測器よりも下の位置限定とする。カメラの高さが計測器を越えないように注意すること。それ以外の箇所(ヘルメットやサイドボックスなど)や、スタッフが不適切と判断する箇所への取り付けを認めない。『車載カメラ』として一般販売されているカメラの使用は認めるが、その他の携帯電話やハンディカムなどの端末は使用を認めない。取り付け場所によっては、周回計測の妨げになるので、十分に注意する事。

25、レース終了後の車検について

- ・決勝レース終了後、所定の場所にて車両保管、再車検を行う。保管中は一切触れてはいけない。
- ・オーガナイザーは決勝でスタートしたすべての車両に対して検査を行う権限を持っている。
- ・オーガナイザー、または技術委員より検査の指示があった場合、参加者もしくは代理人が責任を持って車両の分解、および組立を行わなければならない。
- ・検査の際、誠実に答える事。その際に虚偽の証言をした場合、失格とする。
- ・車検について応じない場合は、失格とする。
- ・違反対象、および必備部品の脱落などの車両については、オーガナイザーの決定するペナルティが課せられる。

第4章 競技に関する事項

- 26、 **コースイン、ピットイン**：原則、コースを走行しているマシンが優先となる。ピットロードからコースへ侵入した際、2 コーナーまでアウト側を走行し、ラインを譲る事。後続車がない事を確認してからコース/ラインへ復帰する。モナコヘアピンからピットインする際には、アウト側に大きくラインを外し、周囲にドライバーサインを出すこと(手を上げる)。また、急な減速、走行ライン上から突然ピットインする行為は大変危険なので、十分に注意すること。パドック入口にはパイロンが設置されている。触れる行為はペナルティの対象となるので、十分に注意すること。
- 27、 **ピットロード**：ピットロードでの通過速度は徐行(30km/m 以下)とする。危険な走行(ヒーティング行為など)や速度超過を発見した場合、ペナルティを課す。ピットロードでの追い越しは、考慮する理由がない限り禁止する。ピットロードでは後続車を優先する。
- 28、 **フラッグ**：
- ・ 黄旗(イエローフラッグ)：危険予告。コース上に危険がある。加速してはいけない。追い越し禁止。
 - ・ 緑旗(グリーンフラッグ)：コースクリア。SC 解除の合図。黄旗解除には使われない。
 - ・ 赤旗(レッドフラッグ)：レース中止(中断)。全てのドライバーは直ちにレースを中止し、オフィシャルから指示された場合はどの地点でも停止できる体勢でスタートラインまで徐行し停止する。
 - ・ 白黒斜分割旗：スポーツ精神に反する行為をしたドライバーに対する警告。ピットに戻る必要はないが、走行に注意が必要。
 - ・ 黒旗(ブラックフラッグ)+サインボード：番号で示された車両(チームマシン)は速やかにピットインし、ペナルティエリアにてオフィシャルから指示されるペナルティを受けてください。
 - ・ オレンジボール旗+サインボード：番号で示された車両(チームマシン)は速やかにピットインすること。
- 29、 **決勝のレース方法**：スタートから所定時間内の周回数で順位を争う。チェッカーフラッグを受けることを優先し、ピットおよびコース内外で停止などチェッカーフラッグを受けられない場合、最多周回数チームの60%以上走行していれば完走と認定する(リタイヤ届けを提出した車両は除く)。同一周回の場合にはチェッカーを早く受けたチームが上位と認定される。レース結果は主催者から発表される正式結果発表を以って確定とする。スケジュールの進行状況および諸事情によりレース時間が縮小される場合がある。終了予定時刻 10 分前より、給油所およびピットロードは封鎖される。一切の出入り不可。 レースの規定計測時間の60%を達成した時点で、レースは成立とする。
- 30、 **決勝時のドライバー走行時間および助っ人**：エントリーした全ドライバーは必ずレースに参加すること。決勝時において、1 回の走行につき最小走行時間を 10 分以上、最大走行時間を 40 分以上と、定める。走行時間が超えてしまった場合は(スタッフ確認)、超えた時間(分) × 10 = 完走周回数より減周とする。なおドライバーがセンターラインを通過したらスタートとし、ピットロードに進入したら走行時間の終了とする。主催により認定を受けた助っ人ドライバーは、60 分/4 時間を走行の上限とする。助っ人認定は、エントリーリストにて発表/告知される。

3 1、 **公式練習**：全クラス混走、45 分間とする。エントリーリストに申告のある、全てのドライバーは定められた公式練習時間内に、参加(走行)しなくてはならない。

3 2、 **予選(スターティンググリッドの決定)**：チーム代表者によるタイムアタックの結果で決定する。その方法はスーパーラップ(1周アタック)とする。走行順番は当日、主催側より決定される。スーパーラップ後、重量測定を行う。アタックしたドライバー重量とマシン重量が規定の最低重量を下回った場合、失格(ノータイム)とし、決勝グリッド最後尾からのスタートとする。シリーズを通して、チーム登録者 1 人 1 回以上の予選参加を推奨する。
予選の出走順番は、朝の車検を受けた順番から、逆の順番で出走する。(2018/2/25 追加)

3 3、 **スタート方法**：ローリングスタートとする。詳細については下記の通り。

- ・フォーメーションラップ開始後、セーフティーカーを先頭に 2 列の隊列とする。
- ・シグナル点灯中はフォーメーション継続。消灯でレーススタートとなる。
- ・シグナル消灯時、センターライン(コントロールライン)までコリドライン内から、はみだしてはならない。加速は認める。
- ・フォーメーション中、スタートのタイミングで前の車両と 2 車両分以上、離れてはならない。離れてしまった場合は、ドライバーサインを出しながら隊列から離れ、後続に譲る事。
- ・フォーメーション中、大きく遅れたと判断されたマシンは、白地に赤×印が提示され、隊列の最後尾につかなくてはならない。(ミススタートの場合も最後尾)
- ・自身のスタートポジション以外からのスタートを認めない。(最後尾以外)
- ・ミススタートの判断はオーガナイザーが判断する。その際、SC から合図が出されるので、同じように全員がミススタートサインを出さなければならない。
- ・SC 後退後、スタートまでの間のペナルティは、レース開始後に随時適用される。

3 4、 **セーフティーカーおよびフルコースコーション**：コース上でのストップ車両が発生した場合、主催者の判断によりセーフティーカーが介入される。セーフティーカーがコースイン後、原因車両は自走してピットへ戻ることを禁止する。セーフティーカー介入決定後、各ポスト黄旗、メインポストは SC ボードと黄旗を提示し、セーフティーカーが先頭に関係なくコースインする。すべての車両はペースを落とし、先頭の車両はセーフティーカーを先頭に 1 列に整列しなければならない。その際の追い越しは一切禁止。ただし、トラブルにより隊列について行けない場合は、片手を上げ、後続に合図しながらラインを外すこと。フルコースコーション中にピットインは可能。セーフティーカーがピットインし、メインポストで緑旗が提示された瞬間より解除される。すでに給油所内で作業している車両については終わり次第、コースイン可能とする。隊列への合流は、無理なく隊列へ復帰する事。その際には必ずドライバーサインを提示しながら合流しなくてはならない。強引な合流と判断された場合は、ペナルティの対象となる。ただし、コース上の安全の為、第 3 コーナーまでに合流し復帰する事。

3 5、 **ペナルティ**：『**2018** 年度 新東京サーキット特別規則書』を参照。ペナルティ対象が発生した場合、コース上メインポストから黒旗とゼッケン No. が提示される。提示されたカートは速やかにピットインし、オフィシャルからストップペナルティもしくは失格が命じられる。ピットストップペナルティ

ィの場合、ペナルティ消化後にオフィシャルの指示で再スタートが可能。ペナルティエリアでストップしている間は、一切の作業を認めない。

<タイムペナルティ(パドックで 40 秒停車義務)>

- ◆黄旗無視…旗提示の場所から黄旗対象場所までの区間での追い越し
- ◆進路妨害(ブロック行為)
- ◆プッシング、幅寄せ
- ◆スタート時のフライング
- ◆ホームストレート、アウト側からの追い越し
- ◆パドック内での喫煙(チーム連帯責任)
- ◆ドライバーチェンジ時、エンジン停止せずに交代する行為
- ◆ほか、オーガナイザーによりペナルティと判断された行為
- ◆ローリングスタート時、コリドライン(ホワイトライン)カット行為 など。

36、スタートドライバーの指定：第3戦に限り、チームの最重量者を予選 TT アタック者、およびスタートドライバーと主催より任命する。朝の重量測定の際に運営より指定され、リストバンドが装着される。これを拒否する事はできない。

37、ドライバー交代、およびピットストップ回数：

【GT-1、GT-2】…全チーム、ドライバー交代を 8回 とする。定められたドライバー交代、ピットストップを消化できなかった場合は失格となる。レース中のドライバー交代は全チーム、指定されたチームパドック前、もしくは給油所にてエンジンを停止した状態で行うこと。再始動についてはチーム内で行う。交代を終えたドライバー・チームは配布される“ドライバー走行時間の管理表”に記入すること。規定回数に満たないチームは失格となる。レース終了後、直ちに事務所へ提出すること。提出がないチームは完走扱いにならない。

【記入例】 ドライバー走行時間の管理表 【記入例】

GT-1	GT-2	(No. 001)	チーム名	チーム新東京			
スタート時間	12:00	走行時間	行った作業に○をつけてください				
ドライバー氏名	東京 太郎	20 分	ドライバー交代	給油作業	ハサ/ハンデ ストップ	リペア	
ピットイン時間	12:20		その他→				
コースイン時間	12:22	走行時間	行った作業に○をつけてください				
ドライバー氏名	千葉 花子	8 分	ドライバー交代	給油作業	ハサ/ハンデ ストップ	リペア	
ピットイン時間	12:30		その他→		黄旗無視		
コースイン時間	12:33	走行時間	行った作業に○をつけてください				
ドライバー氏名	千葉 花子	30 分	ドライバー交代	給油作業	ハサ/ハンデ ストップ	リペア	
ピットイン時間	13:03		その他→				
コースイン時間	13:08	走行時間	行った作業に○をつけてください				
ドライバー氏名			ドライバー	給油作業	ハサ/ハンデ ストップ	リペア	

合計で10分以上、40分以下であればOK

38、 **女性ドライバーの重量**：重量測定は任意とする。拒否の場合は一律 60kg とする。

39、 **無線の使用について**：イベント開催中、一切の無線の使用を禁止する。

40、 **ドライバーサイン**：ドライバーサインは次の通りとする。しっかりと合図を出すように！

- ・ コース上で停止した場合は、両手を上げ、他の走行車両に合図する。
- ・ ピットイン、ピットアウトする場合は、他車にわかるよう片手を頭上に上げる。

41、 **ピット及びパドック内におけるルール**：

- ・ ピットクルーの行為に関する最終的な責任はチームに帰属する。ピットクルーによる規則の違反は当該ドライバー(チーム)に対するペナルティとなる場合がある。登録されていないチーム関係者も同様とする。
- ・ ピットエリア内では火気厳禁(喫煙についても指定場所以外は固く禁ずる)。
- ・ 燃料の持ち込みはすべて消防法により認められた金属製の携帯缶に保管する。
- ・ パドック内、及びピットロードはすべて徐行(30km/h 以下)

42、 **抗議**：イベントのため、抗議は受け付けない。

43、 **給油について**：

◆GT-1、GT-2◆主催者側で指定された給油所にて、各チーム内で燃料を安全に給油すること。給油用のガソリタンクは主催者より配布される。それ以外の持込みの使用を認めない。イベント終了後には返却すること。1回に給油できる量は下記の通り。タンク本体の重量(約 1000 グラム)を含む。

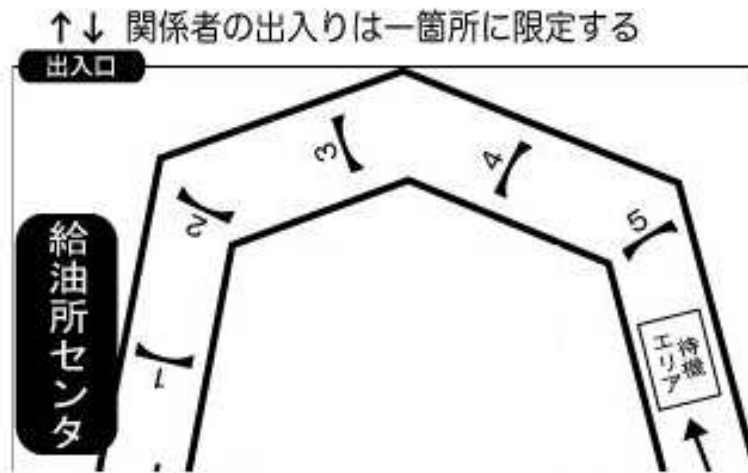
<スタート> 2500 グラム以下

<給油時> 2300 グラム以下

◆給油時での 3 分間ストップ◆1回の給油に対して 3 分間のストップとドライバー交代を行うこと。指定エリアにおいてエンジンが停止している状態を確認した後、スタッフにより 3 分間のカウントが開始される。3 分間を計る作業は、すべてスタッフの手によって行われる。給油後は給油所でのドライバー交代が義務付けられる。また 3 分間のストップ中、前のカートが出走した場合は前に詰めること。ただし給油、塗布中の場合はその作業が優先される。前が空いたからといって、後ろの車両が前の車両を追い抜いて給油所に入ることはできない。ただし、アクシデントにより前進できないとスタッフが判断した場合は、スタッフの指示で追い越すことができる。

◆給油所での停車台数、待機車両◆給油の際はチーム内で消火器をいつでも使用できる体制で給油する。給油所で給油できる台数は最大 5 台までとし、満車の場合はスルーすることができる。また満車時 1 台までの待機は可能(セカンドエリア)。それ以上の台数は給油所にて待機することはできない。なお、セカンドエリアで停車している待機車両への作業は一切認めず、3 分間計測も行わない。

◆給油所のレイアウト◆下記図のように定める。給油所でのメンテナンスなどの作業は一切不可。ドライバーチェンジに必要な作業(ペダルキット脱着)などは認める。なお給油所には混雑を避ける為、2名以上(交代ドライバー、補佐員)の入場を認めない。



◆携行缶◆レース当日、主催者より携行缶が貸出(レンタル)される。レース中の給油については、それを使用すること。ガソリン量については特別規則書にて記す。イベント終了後、すみやかに返却すること(下記写真の掲載ゼッケンは関係ありません)。



※上記どれかひとつでも紛失した場合、¥3800/1タンク分を当日支払う事(弁償)※

第6章 成績及び賞典に関する事項

44、シリーズポイントの授与

GT-1、GT-2

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
20 p	18 p	17 p	16 p	15 p	14 p	13 p	12 p	11 p	10 p

11位	12位	13位	14位	15位	16位	17位	18位	19位	20位
9 p	8 p	7 p	6 p	5 p	4 p	3 p	2 p	1 p	0.5p

- ・ シリーズ対象は、シリーズ5戦中3戦以上の出場チームで、有効は4戦とする。
- ・ 得点は完走したチームに与えられる。
- ・ シリーズ最終戦は1.2倍のポイントが加算される。
- ・ シリーズ有効ポイントが同ポイントの場合、優先順位は以下の回数が多いか、もしくは上回っているチームを優先する ①最上位入賞回数(1～6位) ②出場回数 ③最終戦の結果

45、賞典：GT-1、GT-2 すべてクラス別で表彰する。表彰対象数は主催者によって決定される。

46、勝者ボーナス：

各クラスの上位チームには、次戦へ向けてボーナスが支給される。ただし、最終戦は無効とする。

<GT-1>

優勝 2位 3位…スタート時のガソリン量から、マイナス700グラムでスタート(1800グラム以下)。

<GT-2>

優勝 2位 3位…スタート時のガソリン量から、マイナス700グラムでスタート(1800グラム以下)。

※GT-1、GT-2 どちらも、このボーナスは出場しない限り、解除される事はない。(最終戦を除く)

※第2戦以降、コースレイアウト変更に伴い、内容が変更される場合がある。

第6章 損害補償

オーガナイザー及び大会役員の業務遂行によって起きたドライバー、ピット要員の死亡、負傷及び車両の損害に対して主催、後援、協力、協賛するもの及び大会役員は一切の保障、責任を負わないものとする。

【最後に…】

今大会では、全ての参加者様に安全に、本気でスポーツカーを楽しんでいただく事が最大の目的となります。しかしスポーツカーとはいえ、最高速度は70～80kmを超え、一歩間違えば大きな事故に繋がる可能性があります。そんな中で参加者みなさまが、安心して楽しめる大会を目指して運営をして参ります。参加される皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

株新東京サーキット代表取締役
大野 聡